

このまちの100年

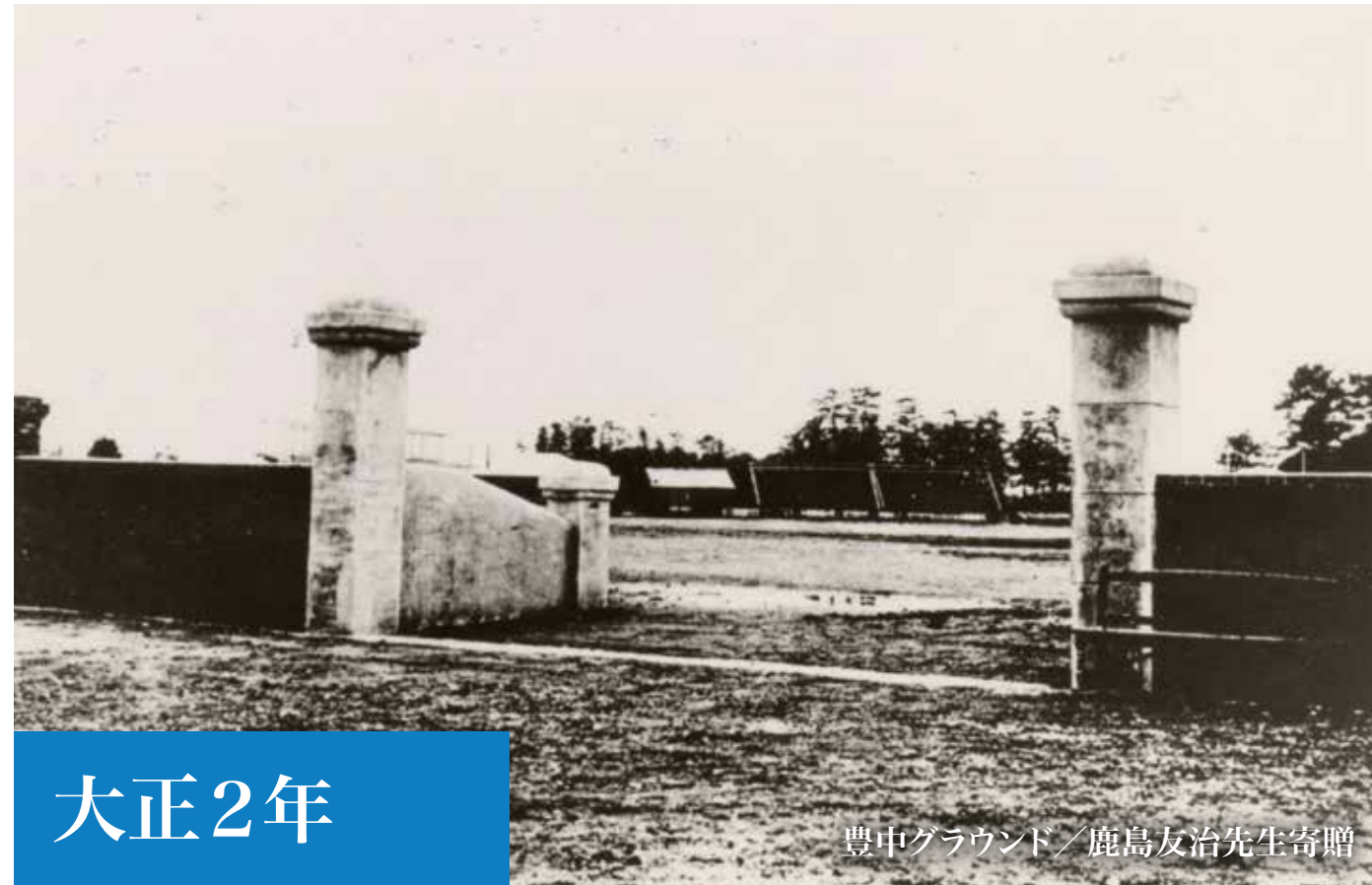
「豊中」

現在の阪急電鉄の前身である箕面有馬電気軌道は、明治43年に大阪から宝塚・箕面に至る新路線を開通させ、沿線開発にも取り組みました。住宅や教育環境も整備のほか、乗客の誘致策として運動場も設置されました。



明治後期

服部天神宮は、足の神様として崇敬を集め大いににぎわった



大正2年

豊中運動場で大正4年に開催された全国中等学校優勝野球大会が現在の夏の高校野球へ発展



昭和11年

阪急豊中市場周辺には、商店街が形成されていった



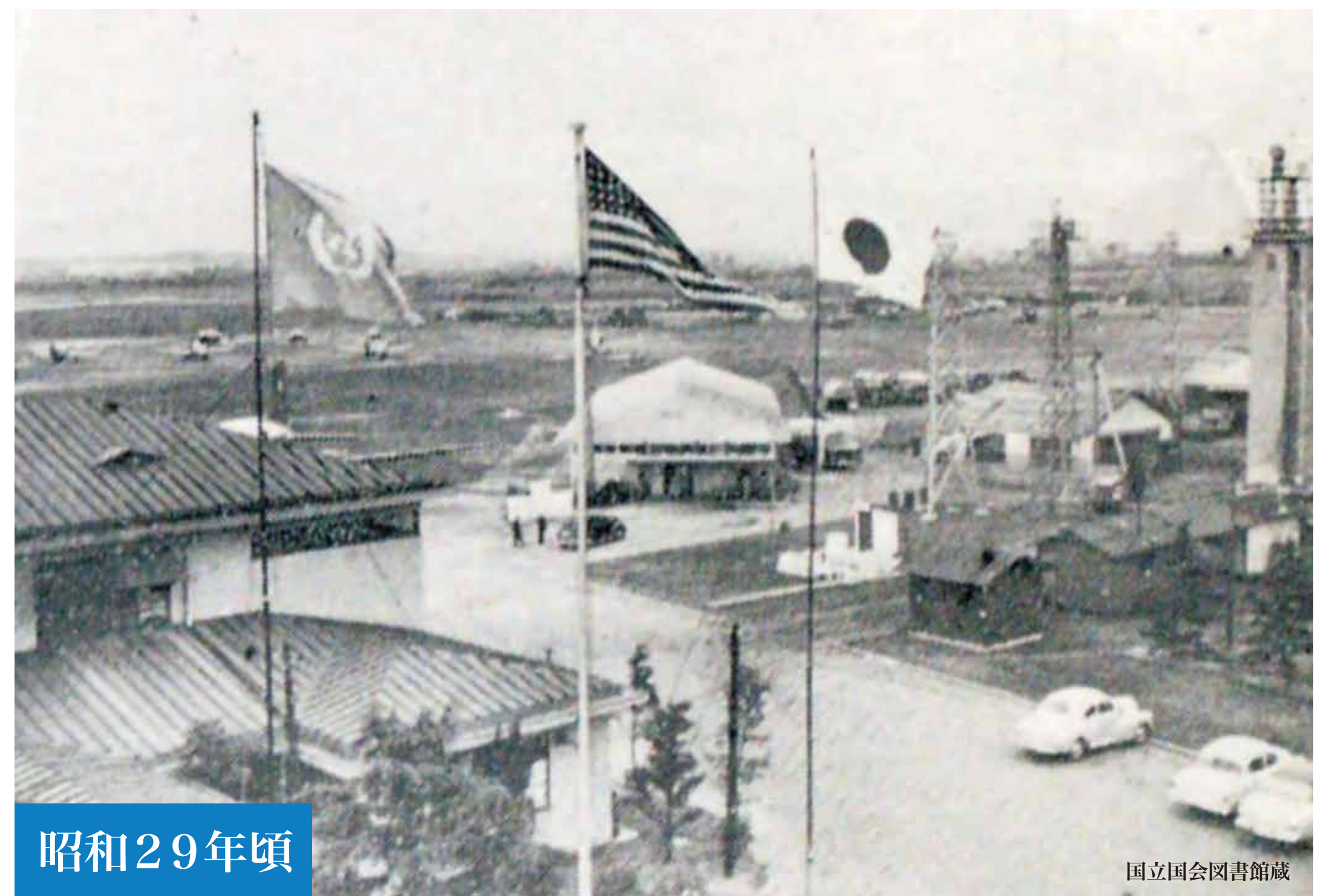
昭和11年

豊中町。住宅と共に教育環境も整備されていった



昭和13年頃

原田神社の北鳥居付近、能勢街道。物産品などが大阪に運ばれた



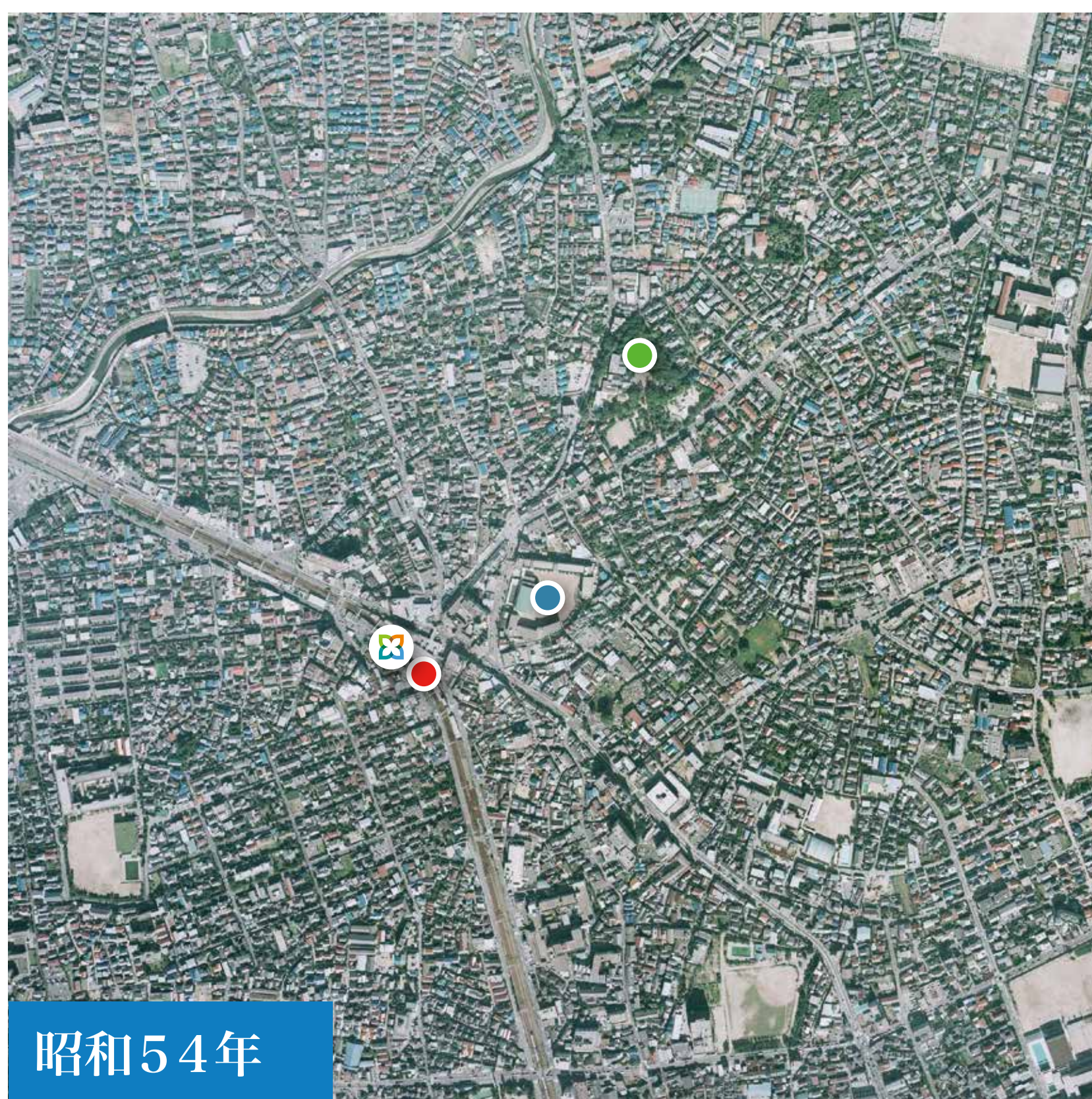
昭和29年頃

伊丹飛行場。昭和33年に大阪空港、その翌年に大阪国際空港となった

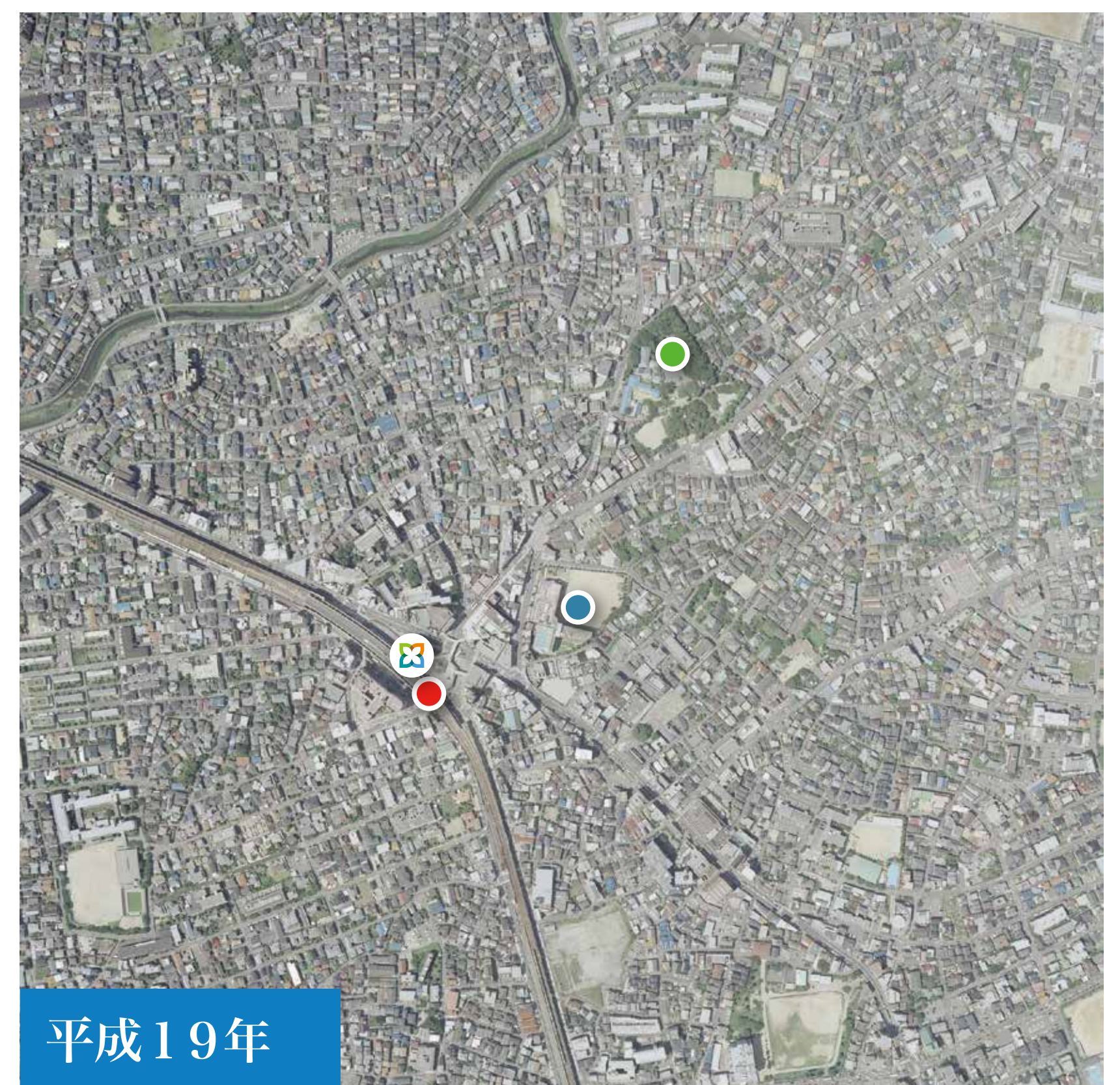
上空からみた豊中エリア



昭和23年



昭和54年



平成19年

📍：現在地
●：豊中市立大池小学校 ●：豊中稲荷神社 ●：豊中駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」（一部加工）

編集：株式会社コロマチ